

第5学年 外国語活動学習指導案

平成30年9月12日(水) 第5校時

5年1組 児童数20名

指導者 池谷 康史(T1)

ALT Julianne Streeter(T2)

1. 単元名 Lesson7 What's this?

2. 単元について

(1) 単元観

本単元では、**What's this?**を自然な形で使う場面として、ピクチャークイズやスリーヒントクイズ等のクイズを出し合う活動を取り上げている。これらのクイズは、**What's this?**と言うだけでなく、視覚、動物や野菜、果物といった種類、色、形、大きさ、の情報がヒントとなるため、クイズの内容を推測しやすい。第4時では、グループで考えたクイズを出題し合うクイズ大会を行わせる。グループで1つのまとまった活動を行うのは本単元が初めてである。互いに教え合い、「英語を使ったクイズができた。」と一人ひとりの児童が感じられるようにしたい。また、日本語には二字熟語のような2つの漢字の組み合わせで意味を表す言葉があるのと同様、英語にも単語が組み合わせられてできている言葉があること、**bat**(野球のバットとコウモリ)、**eraser**(消しゴムと黒板消し)等、日本語と同様に同じ発音で違うものを表す語(同音異義語)があることを知り、日本語と英語の類似点から言葉の面白さに気付かせたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、意欲的に外国語活動に取り組む児童が多い。週一回のALTとの学習も楽しみながら行っている。これまでの単元のチャンツやゲーム等を通して、外国語活動に対する不安や友達とコミュニケーションを図ることに対して抵抗感や恥ずかしさは少しずつなくなってきた。しかし、外国語で表現することに抵抗があり、はっきりとした声でコミュニケーションを図ることに恥ずかしさがある児童もいる。そこで、チャンツやゲーム等を授業の中で繰り返し取り入れ、英語の発音やリズムに慣れ親しませることで、自信を持って外国語を使おうとする意識を高めていきたい。

(3) 指導観

これまでに児童は、感情や様子を表したり、1~20の数を数えたり、色や形、好きな物や苦手な物を尋ねたり答えたりするなど、様々な経験を通して活動にも慣れ、楽しく授業に参加できつつある。これまでの活動経験を生かし、ここでは「目の前の物が何かを尋ねたり答えたりする」表現や、動物、野菜、学校生活の中にある身近な物を表す語を扱う。

第1時(本時)では、様々なクイズを行い、自分達でクイズを作り、クイズ大会をするという学習の見通しを持たせる。本時の指導においては、視覚の情報がヒントとなる比較的易しいクイズに楽しく取り組み、このくらいだったら自分でも表現できそうだという自信につなげる。第2時では、チャンツやゲーム等を通して、何かを尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむことができるようにする。第3時では、問題作り、解答にする物の英語表現等、クイズ大会に向けて準備をさせる。グループのクイズ作りでは、互いに教え合うことで、「英語を使ったクイズを作ることができた。」と一人ひとりの児童が感じられるようにしたい。第4時では、クイズ大会「これは一体、何で**show?**」を行う。分からない単語があっても、**What's this?**と尋ねることで、身近な物を英語で言えるようになる楽しさを感じ取らせたい。また、**Do you need hints?**や**Hint, please, What a do you say**などの本単元の言語材料にも入っていない表現にも触れさせることで、相手とのやり取りの中で自然に外国語を使う機会を増やしていきたい。

3. 単元構想図

付きたい力 (新学習指導要 領 領域別の目 標)	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。【聞くこと】 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。【話すこと〔やりとり〕】
中心となる言語 活動	What's this? クイズ大会「これは一体、何で show?」

◆学習の流れ

◆意識の流れ

第4時

クイズ大会「これは一体、何で show?」をする。

・写真やシルエット、具体物等を活用して、ある物について、互いに尋ねたり答えたりする。単元の学習を振り返る。

第3時

クイズ大会に向けて、クイズを作る。

・どのような形式でクイズを出すのかを決める。クイズの解答の英語表現を練習する。

第2時

身近にある物を英語を使って表現できるように練習する。

・“What's this?”の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。ゲームやチャンツで練習する。

第1時

学習の見通しを持つ。

・スリーヒントクイズやピクチャークイズ等を行い、自分達でクイズを作るという学習の見通しを持つ。

・クイズ大会をしよう。
 ・ALTの先生にも答えてもらおう。

・私たちは「シルエット・クイズ」を作ろう。
 ・解答になる〇〇の英語表現は、たしか●●だったよね。

・顕微鏡はmicroscopeって言うんだ。マットはmatだね。
 ・野球のグローブと地球儀、コウモリとバットが難しいね。

・あれは何かな。分からない時は、ヒントが欲しいな。種類、大きさ、色を聞きたいな。
 ・私もクイズを作ってみたいな。

【児童の実態】

・外国語活動の学習を楽しみながら行う児童が多い。
 ・英語表現、会話等に自信のない児童がいる。

4. 単元の目標

- ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。
- ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 日本語と英語の共通点や相違点から、言葉の面白さに気付く。

5. 単元の評価基準（現行）

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度【コ】	外国語への慣れ親しみ【慣】	言語や文化に関する気付き【気】
ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとしている。	ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	身の回りに関する事柄につて、簡単な語句や基本的な表現を知り、言葉の面白さに気づいている。

6. 学習活動と評価の計画（全4時間）

時	学習内容	評 価	言語材料
		評価基準（評価方法）	
1 本 時	身近な物の言い方を知り、学習の見通しを持つ。 ・ある物の絵や写真を見たり、ある物を触ったりして、それが何なのか答えるクイズをする。	【気】身の回りに関する事柄につて、簡単な語句や基本的な表現を知り、言葉の面白さに気づいている。 (行動観察、振り返りカード)	What's this? It's a ~. It's an ~. Let's play the ~ quiz. You can say it in Japanese. triangle, fish, recorder, shoe, notebook, eraser, glove, beaker, bird, bat, textbook, piano, mat, microscope, apple, map, cup, ruler, globe, tomato, eggplant, frying pan, brush, flower, dog, starfish, guitar,
2	身近な物の言い方に慣れよう。 ・語彙の復習、紹介 ・チャンツやゲームなどを通して、自分の生活に身近な物の英語表現に慣れる。	【慣】ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察、振り返りカード)	pineapple, sunflower, pencil, pencil case, book, sea horse, Peach Boy, banana, baseball, sport, vegetable, fruit, Look at ~. That's right. NICE
3	クイズ大会に向けて、クイズを作ろう。 ・語彙の復習 ・どんなクイズにするのか（具体物、3ヒント、シルエット等）決め、クイズ大会に向けて練習する。	【慣】ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (クイズ、行動観察、振り返りカード)	Great. Well done. Good job. I see. yes.
4	クイズ大会「これは一体、何でshow?」を開催しよう。 ・これまでの既習を生かし、ある物が何か尋ねたり答えたりする。 ・単元の学習を振り返る。	【コ】ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとしている。 (行動観察、振り返りカード)	

7. 本時の指導（本時1 / 4時間）

(1) 本時の目標

- ・身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を知り、言葉の面白さに気づくことができる。

(2) 準備物

- ・ピクチャーカード ・振り返りカード ・付箋

(3) 展開

児童の活動	指導者の活動と留意事項 ◇T1 ◆T2	評価の観点（☆）
<p>1. 挨拶をする。 （天気、曜日、月日）</p> <p>2. HRT と ALT のスモールトークを聞き、クイズを出すことに興味を持つ。</p> <p>3. 今日の学習課題を知る。</p>	<p>◇日直の児童に声をかける。 ◆児童と共に挨拶をする。</p> <p>◇◆買い物で何を買ったのかについて話をする。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">身近な物の言い方を聞いて、日本語との違いや似ているところを見つけよう。</div>		
<p>4. クイズを通して、自分の身近にある物の言い方を知る。 ・「ピクチャークイズ」 ・「スリーヒントクイズ」</p> <p>5. ペアで「スリーヒントクイズ」に取り組む。</p>	<p>◇今日の学習課題を確認する。</p> <p>◇英語で表現できない場合は、日本語で表現しても構わないことを伝える。また、ペア・グループで相談してもよいことも伝える。</p> <p>◇「ピクチャークイズ」では、児童の様子を見ながら、写真の見せ方を工夫し、児童の答えたい気持ちを高めるようにする。</p> <p>◆英語表現については、1つずつ発音を確認し、練習する。</p> <p>◇2回「スリーヒントクイズ」を行うが、1回目が終わった後に中間評価を行い、2回目にそのことを生かすようにする。</p> <p>◇今日行った「スリーヒントクイズ」をグループで選んでクイズ大会を行うことを伝える。</p>	<p>☆【気】身の回りに関する事柄につて、簡単な語句や基本的な表現を知り、言葉の面白さに気づいている。</p>
<p>5. 今日の学習を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。</p>	<p>◇今日の学習で、どんな気づきがあったか、これからの学習にどう取り組んでいきたいかななどの視点で振り返りを書かせる。</p>	<p>（行動観察、振り返りカード）</p>